

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ディスプレイⅡ Display		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ディスプレイⅠ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
カラーコーディネート、ファッションコーディネート				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
阿部芳子	社会福祉棟・3F	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
ディスプレイテクニックは販売促進活動に必要なビジュアルプレゼンテーションである。テーマ別のディスプレイを実施し、表現力をつけることがねらいである。				
授業の目標				
テーマやメッセージ性のあるVMDの作成を学び、店舗レイアウトや導線を意識した魅力的な売り場構成を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
テーマごとに、レイアウト図、主展示物と什器、カラーなどの検討をし、教室内を適宜、展示会場に設営し、感性の向上を図る。照明や香を使用したディスプレイも組み入れる。学内展示を行う。				
学習の成果(学習成果)				
ディスプレイ作業を個人とグループで行うことは、表現の多様性を理解し、感性表現の向上を身につけることができる。また、テーマに沿ったディスプレイ提案を重ねることで、生活の様々なシーンのビジュアル表現に応用できるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス VMD計画書について			
第2回目	オーナメント制作の説明 小物表現			
第3回目	オーナメント制作 レイアウト図			
第4回目	オーナメント制作 表現 解説			
第5回目	季節(秋)を意識した作品 サンプル提示			
第6回目	カラーを組み入れた季節表現 [図面提出]			

第7回目	見たいと思わせる空間の使い方	
第8回目	ライディングのテクニック	
第9回目	季節（冬）を意識した作品	ディスプレイ小道具
第10回目	オーナメント制作	ディスプレイ準備 計画
第11回目	グループワーク	オーナメント制作 展示作業
第12回目	新春の表現	日本の新春表現を研究 「レポート」
第13回目	グループワーク	オーナメント制作 ディスプレイ計画・準備
第14回目	グループワーク	オーナメント制作 香・照明の利用 プレゼンテーション 発表
第15回目	ディスプレイ技術の講評 まとめ	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	テーマに沿ってグループ表現・個人表現それぞれが積極的に参加し、連携して作業が進められたか。
レポート	20%	テーマの内容が理解され、レポートが期限内に提出されたか。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	50%	積極的に取り組み、テーマに沿って各自が高い完成度で表現できたか。コミュニケーション力とチーム力で取り組めたか。作品完成度の総合評価。
その他		
教科書と参考図書		
ディスプレイ・VP/VMD（文化出版局） 参考書等は授業時に指示します。		
履修上の留意点・ルール		
ディスプレイ I の履修者の受講を望む。 制作に伴う材料費は別途です。 授業時に相談します。		